

Campaign Lady

キャンペーンレディの
長島魅力発信

Vol.07

ハートマークの花の前でハイチーズ！



長島町のキャンペーンレディ・二階堂美慧
さんが町の景色や特産品、知られざる
魅力を紹介します。

袋いっぱい採れたアオサ



まるで海の草原？

昨年の7月5日に、過去に類を見ないほどの豪雨で、町内のアオサの養殖場が大きな被害を受けました。獅子島地区では、養殖場が土砂に埋まり、網を張る杭もなぎ倒されました。

あれから8カ月——私は獅子島に行き、立石集落の山田勝治さんがアオサを収穫している様子を、同じ船に乗りながら見せてもらいました。アオサはとてもきれいな緑色でツヤツヤしていて、豪雨の被害を受けたとは思えない

ほどの出来でした。今年の収穫量は、例年の半分くらいだそうです。「7月の豪雨の影響もあったが、丹精込めて作ったものを全国の消費者に届けたい。これからも豪雨の被害にも負けずに頑張っていきたい」と、山田さんの言葉がとても印象深く感じました。

普段、何気なく口にしているアオサですが、今回の取材で生産者のかたがたが、どれだけアオサに思いを込めて生産されているのか、熱意が伝わってきました。

自粛疲れ、花で癒しを

新型コロナウイルスの影響で今年の「夢追い長島花フェスタ」は開会式や植栽体験などのイベントは中止となりましたが、サンセットの丘会場やぐるっとフラワーロードを中心に、春の花ばなの植栽が進められています。見頃は3月下旬からゴールデンウィークまでの予定です。

今回私は、スタッフとして、サンセットの丘会場で植栽の準備をお手伝いしました。その中で「ハンギングバスケット」という植物を植えて吊り下げたり、掛けたりできる花鉢を作る作業や「花文字

という名前のおり、花を使って文字を作る作業をさせていただきました。ちなみに、文字は来場されてからのお楽しみです！

ハンギングバスケットは同会場に200個あり、一つのバスケットに13本の苗を使用します。花文字には、リュウノヒゲとビオラの2種類、約3,000本を使って花文字を作り上げます。

花育苗アドバイザーの瀬戸上美春さんは「コロナの1日も早い終息と大好きな長島をPRしたい」と力強い気持ちを語ってくれました。

春の花ばなをお楽しみに！



たくさんのお花が皆さんを歓迎してくれます。ぜひ、長島のお花ばなをご堪能くださいませ。そうぞ！今年も町外に住む祖母たちを連れて行こう！！



地域おこし協力隊
制作：江副 佑輔

出水、阿久根、薩摩川内、長島の地域おこし協力隊の交流会がありました。長島以外の多種多様な協力隊の活動を知り、井の中の蛙になつていと反省しました。成果以上に広い知見を。作を肥やさず土を肥やせ。地域のひとつ、土地のこと、尋ねていきたいです。



企画財政課
広報統計係
担当：田上 徹

職場で作業していると、くしゃみが止まらなくなりました。家に帰って、妻に「風邪引いたかも」と告げると「花粉症じゃない？」と返答が。マスク生活が長いので、花粉症であることをすっかり忘れてしまっていた私。春はもうすぐ。コロナも早く終息しますように。

編集後記

